

## 令和4年度 学習分析事業 改善計画 三原市立第四中学校

## 1. 本年度の結果

## ①学力定着分析 NRT 偏差値平均(全国を50とする)

		国語	社会	数学	理科	英語	全体
1年	前年度結果 偏差値平均	/	/	/	/	/	/
	本年度結果 偏差値平均	45.8	44.9	49.6	50.9	51	48.4
2年	前年度結果 偏差値平均	51.6	45.9	48.2	49.4	46.3	48.3
	本年度結果 偏差値平均	51.9	49.1	45.1	51.2	47.6	49
3年	前年度結果 偏差値平均	48.4	52.3	47	48.9	49.7	49.2
	本年度結果 偏差値平均	46.7	50.6	45.1	47.3	43.7	46.7
全体	前年度結果 偏差値平均	50.6	52.1	50.2	51.5	50.4	51
	本年度結果 偏差値平均	47.8	48.6	46.4	49.3	46.8	47.8

## ②全国学力・学習状況調査 正答率平均(第3学年対象)

教科	国語	数学	理科
前年度結果 (対果比)	69 (106)	64 (112)	/
本年度結果 (対果比)	67 (97)	42 (84)	48 (98)

## 2. 調査から明らかになった課題

## 【年度当初の学力について】(NRTをうけて)

- 偏差値平均を同一集団で比較(2・3年)すると、前年度より2年生は上昇したが、3年生は下降した。全学年、偏差値平均50を下回っている教科が過半数である。
- 国語では、1年生は主題や構成を読み取ること(全国比50)、2年生は工夫して話すこと(全国比94)、3年生は要点を捉えること(全国比66)に課題が見られる。
- 社会では、1年生は歴史的分野(全国比79)、2年生は世界のさまざまな地域(全国比94)、3年生は近世の日本(全国比99)に課題が見られる。
- 数学では、1年生は起こりうる場合の数(全国比81)、2年生は方程式(全国比66)、3年生は四分位数や箱ひげ図(全国比76)に課題が見られる。
- 理科では、1年生は物の温まり方や体積(全国比54)、2年生は、火山活動と火成岩(全国比92)、3年生は植物の体のつくりと働き(全国比80)に課題が見られる。
- 英語では、1年生は自分に関する英語を書くこと(全国比43)、2年生は、テーマに沿ってスピーチをする(全国比71)、3年生は、考えや気持ちを正しく伝える(全国比63)に課題が見られる。

## 【年度当初の学力について】(全国学力・学習状況調査をうけて)

- 3教科とも全国平均を下回っている。
- 国語では、表現技法の名称を解答することができていない(20.0%)ことから、言葉の特徴や使い方にに関する事項の知識・技能に課題が見られる。
- 国語や理科で、質問の趣旨を正しく読み取ること課題が見られる。
- 数学の証明問題では、筋道を立てて、説明することができていない。(6.3%)
- 数学では、与えられた条件とグラフから事柄を見いだして説明することができていない。(18.8%)
- 理科では、考察の妥当性を評価する問題(13.3%)で、実験結果を多面的に見て考えることに課題が見られる。

## 3. 課題解決に向けた学校組織全体の重点目標・取組

重点目標 (何を、どの程度達成するか)	達成のための具体的取組 (どのようにして)	スケジュール	検証の指標・目標
<b>【授業改善を通した学力・学習意欲の向上】</b> ○ 全校で、知識定着のための取組を行う。 ○ 全学級、課題が見られた領域について重点課題として取り組む。	① NRTの誤答分析による実態把握と改善計画の立案 ② 校内研修において改善計画・目指す授業の共有(研修内容をA4版で)・全体研修 ③ モジュールタイムを利用した学力補充(5教科・週1回ずつ) ④ 校内研修で全教職員による全国学力・学習状況調査の課題の共有ならびに今後の改善策の立案 ⑤ 授業時間等を活用した全国学力・学習状況調査の過去問の ⑥ 令和4年度各種学力テストの数値と課題を共有、令和5年度目標の設定	① 6月 ② 7月～8月、学期に2～3回・学期末に1回 ③ 年間を通して ④ 8月 ⑤ 1～3月 ⑥ 来年度4月	・ Q-U2回目の学習意欲の数値(全学年で全国比以上) ・ 実力テスト2回目の平均値(全学年1回目以上) ・ 年度始めNRT、実力テスト平均値前年比以上(同一集団) ・ 学校内生徒アンケート(学習の広がりについての肯定的評価80%以上)
<b>【学級・学習集団づくり】</b> ○ 全学級において、道徳科を要とし、自分や他者の良いところに気づき、それを認めることができる活動を取り入れる。 ○ 全教科・領域で「学び合い」を取り入れ、学力の向上や温かい人間関係づくりを目指す。	① Q-Uの分析による実態把握と改善計画の立案 ② 経営会議において各学級実態と改善計画の共有 ③ 校内授業研修や、校内研修(学期のまとめ)の実施 ④ 全教職員で「学び合い」の理念の共有	① 6月・12月 ② 6月・12月 ③ 学期に2～3回・学期末に1回 ④ 来年度4月	・ 学校内生徒アンケート(生活・「学び合い」についての肯定的評価前年比以上) ・ Q-U2回目の「クラスの中にいるとほっとしたり明るい気分になる」の数値(肯定的評価前年度以上)